

2019年12月9日

**新たな企業価値算出手法の確立をめざす
「Value Balancing Alliance」に日本企業初の参画**

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、企業が環境・人・社会に与える影響を反映させた新たな企業価値算出手法の確立を目的に設立された「Value Balancing Alliance」（以下「VBA」）に日本企業として初めて参画することをお知らせします。

VBAは、2019年8月にBASF、ポッシュ、ノバルティスほか欧米韓の世界的企業8社によって設立された非営利団体です。OECDや複数の監査法人と協力し、Life Cycle Assessmentの考え方を環境影響のみならず社会影響にも展開するなど、企業が環境・人・社会に与える影響を金額換算し、企業間で比較・分析できるようにする企業価値算出手法とそれに基づく会計基準を今後3年かけて確立することをめざしています。金額換算する例として、人材育成による人的資本形成への寄与や雇用や納税による社会への貢献などが挙げられます。

当社は、12月からVBAのステアリングコミッティおよび企業価値算出手法開発を担うチームに参画します。近年ESGの取り組みを中長期的な企業価値の評価要素とすることが定着化してきており、当社グループにおいては、社会価値と経済価値を持続的に両立させることで企業価値（KAITEKI 価値）の向上を推進しています。こうした状況下、VBAに参画することでESG要素を内包したKAITEKI 価値算出の高度化を図ってまいります。

当社グループは、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を「KAITEKI」と表現し、この実現をビジョンとして企業活動を展開しています。今後もKAITEKI 実現をめざした環境・社会課題解決への貢献や、適切な情報開示を通じた経営の透明性の向上に向けて取り組んでまいります。

※VBAの詳細については、<https://www.value-balancing.com/>をご参照下さい。



以上

お問い合わせ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
電話：03-6748-7140